

6月10日の遺族会で、ボランティア（受付・案内係など）をしてくださる方は、
11:00までに会場にお越しください。（ファシリテーターをして下さる方は10:00）

今回の会場は、**日本福祉大学 名古屋キャンパス** です。（各線「鶴舞」駅）
遺族会は、13:00開場、13:15スタートです。

★日本ホスピス在宅ケア研究会・高山大会

自死遺族ケア部会“コタツ座談会”のお知らせ！……………

リメンバー名古屋自死遺族の会の母体である、日本ホスピス在宅ケア研究会の、自死遺族ケア部会の午後の企画の概要が固まりました。本企画の担当は野村さんです。

★企画の目的：

自死遺族の感じていることを伝えたい、自死についていっしょに話したいと思う。

自死は決して一部の人だけの問題ではなく、命を持って生きるすべての人の存在に関わる問題である。

ホスピスに関わり、命、死を見つめている方たちと、最後には、生きることってなんだろう、死ぬことってなんだろうということについて、共通の感覚でつながれるようになればと思っている。

★日時：2007年6月30日（土） 13:00～

★場所：高山グリーンホテル（岐阜県高山市西之一色町2-180 JR高山駅徒歩8分）

★プログラム：

受付にて、質問用紙配布

第一部：「自死遺族は何を思う～伝えたい思い」

会場中央に設置した「コタツ」にて、自死遺族当事者数名による座談会

<テーマ>（予定）

① 亡くなった人に対する感情、自分自身に対する感情

- ・ 理由探し、怒り、共感・・・
- ・ 自責、後悔・・・

② 他者との関わり

- ・ 自殺っていけない
- ・ 自殺者、遺族に対する偏見、傷つけられたこと

③ 遺族としてどう生きるか

- ・ グリーフワーク、遺族会
- ・ 決着、再生

.etc

<休憩>

<質問用紙回収>

第二部：「自死遺族と市民との対話」

回収した質問用紙を、「コタツ」にて取りあげ、遺族が答えていく。

また、会場にもマイクを回して、質問、感想を言ってもらおう。

★企画への思い：

年間の自殺者数が3万人を越える数字で推移しているという。

でも、今は、全体の数字を考えるのはよそう。

自分にとってとても大切な人が死んでしまった、そのことを見つめていきたいと思う。

遺族としての生き様は、返事のない故人との対話、自分自身との対話である。

そのいつ終わるとも知れない対話の中で、なぜ死んだのか、なぜ自分を遺していったのか、なぜ助けることができなかったのか、なぜ自分は生きているのか・・・を問い続けているように思う。

自死(自殺)遺族のケアを考える企画ではない

自殺者を減らすための企画ではない

遺族の声を聞き、参加者の声を聞き、死んだものの心、そして、自分自身の心を想う。

そこに「自殺」という枠を超え、生きること、死ぬことについて、共通の深められた感覚が残れば。

そんな企画になることを願っている。

●自死遺族は、何を思う。伝えたい思い。(第1部)

何を伝えたいのか、まだ十分に言葉にできない。

でも、伝えたいものがある。

遺族は、愛するものを失ったあと、悲しみ、寂しさ、怒り、自責、・・・、さまざまな感情を抱く。まわりの人々との意識の違いに、時に傷つけられたりもする。

「命はかけがえのない大切なもの」という言葉にも、故人の気持ちに寄り添い、擁護しようとしたとき、故人が非難されているようでとてもつらいと思うことがある。

「社会から自殺を減らしていこう」ということでさえ、自殺を選んだことも含めた故人の人生を受け入れ、肯定しようとする心には、受け入れられないこともある。

「死を選んだ理由」「自責」「なぜ自殺って言えないのか」「なぜ生きるか」・・・など、話す遺族にとっては辛いテーマではあるが、テーマごと整理して、順に、会場の中心に設けた遺族の輪の中で話していく。各自が、故人の生き様、故人への思い、そして自分自身の生き様を語り、伝える。遺族の生の声を受け止めていただきたい。

●参加者の方々と、交わりたい思い。(第2部)

言葉を、思いを交わりたい。

生きることについて、死ぬことについて。

自殺は、決して一部の人が関わる問題ではない。人が生きる意味を見出せず死を選ぶということに向き合うとき、遺されたすべてのものに、生きる意味とは何かという問題をつきつける。答えのないことではあるが、遺族(少なくとも私)は、そのことを考えざるを得ないのである。答えがないからこそ、人と、言葉を、思いを交わしていくしかないとも思う。遺族、参加の方々、そして故人の相互理解のためにも。

遺族の話を聞いて、感じたこと、思ったこと、伝えていただきたい。

お渡しする紙に、自由に書き綴っていただければ。

それを受けとり、また遺族の輪の中で話していく。

重く、難しく、答えがない。でも、生きる上で、とても大切で、必要なこと。

高山という山に囲まれた地で、静かに、語り合いませんか？

多くの方のご参加をお待ちしています。

★費用：

・高山大会参加費をお支払いください。高山大会は6月30日・7月1日の2日間にわたって行われます。

事前申し込み：2日間参加：6,000円(日本ホスピス・在宅ケア研究会の会員は5,000円)、
1日のみ参加：4,000円

当日申し込み：2日間参加：6,000円(日本ホスピス・在宅ケア研究会の会員も6,000円)、
1日のみ参加：4,000円

★申し込み方法：

参加の事前申し込みを、日本旅行高山支店が代行しています。

下記宛に申し込みをしてください。

株式会社日本旅行高山支店

〒506-0053 岐阜県高山市昭和町1-1 高山駅構内

TEL：0577-34-2218 FAX：0577-34-2155

Email：

担当：吉田有孝様

営業時間：平日9:30-17:30(土日祝日休業)

ホームページからの予約が便利です。<http://www.hospice.jp/>

(ホテルの予約・お弁当の予約もこちらでできます。

食べるところが会場の周囲に無いそうですので、お弁当も予約しておかれるとよいと思います)

大会全体のスケジュール表を別紙添付します。

★会の電話ができました

これまで、リメンバーは「電話がない!」というなんとアヤシイ団体でしたが、このたびようやく、電話を設置しました。遺族会の当日の12:00~13:40しかつながりませんが、ご利用くださいね。

090-8544-9408 (応答メッセージのみ)

「この電話を転送します、そのままお待ちください。」というメッセージが流れ、応答メッセージにつながります。応答メッセージは1分間程度で、次回の遺族会の日時や場所などのご案内が流れます。

※電話をかけてくださった方からメッセージを録音することはできません。

※遺族会当日以外は、スタッフが電話をとることはありません。(普段は誰も出られないので、充電しております)

遺族会当日のみ、ボランティアスタッフが電話口にいます。

次回、電話開通時間は、6月10日(日) 12:00~13:40

「道がわからない!」「何時からスタートだったっけ?」というときに、お電話くださいね。

★2006年度 会計報告

2005年1月~12月のリメンバー名古屋自死遺族の会の会計結果は以下のとおりです。

当会の運営は、主に遺族会当日の参加費カンパでなっています。ご協力ありがとうございました。

○収入

前年繰越	76,731 円
寄付	76,191 円
参加費カンパ・郵送会員年会費	187,104 円

総計 340,026 円

○支出

会場費	9,600 円
スタッフ交通費補助(取材・会場予約・行政との打ち合わせ)	51,500 円
雑費(主に、ペットボトルお茶代・紙コップ代)	16,669 円
事務費(主に、コピー代・プリンターインク代)	53,959 円
通信費(FAX・郵便等)	116,480 円
会費(親団体)	2,000 円

総計 250,208 円 残高 89,818 円

なお、「スタッフ交通費補助」は、対外的な打ち合わせや会場予約の際の交通費の補助であり、遺族会参加のための交通費は当然含んでおりません。

交通費・通信費に関しては、2005年度まではほとんど計上できませんでしたが（ほとんどが個人での持ち出しでした）、2006年度は一部を計上させていただきました。対外的なやりとりも増えており、そのため昨年よりも金額が増えております。

また、毎回の遺族会には、スタッフも参加費カンパ1000円を払って参加しています。繰越金が89,818円ありますが、1度でも民間の会場を借りると、ぱあっと無くなってしまいう金額ですので、当面はこのまま、参加費カンパ1000円をいただいでの運営になります。ご協力よろしくお願い致します。

★ 会計規定ができました

運営委員で話し合い、会計規定を作りました。

2006年度までは、明確な規定はありませんでしたが、ほぼ、これに準ずる形で運用してきております。

リメンバー名古屋 会計規定 2007

「会の活動」に関してかかる収入・費用を、以下のように定め、会の会計により処理するものとする。

- ・会の活動とは、遺族会、スタッフ会議、講演会シンポジウムなどのイベント、他団体自治体等との必要な会議、会に対する取材対応、遠足の会、作文の会など。
- ・会の名前を使用するなどしていても、個人的な講演、寄稿、取材などについて、その報酬、費用について、会の会計は関与しない。
- ・講演会、シンポジウムなど大規模なイベントなどについては、独立採算を基本とし、最終損益の処理は都度検討する。
- ・以下に規定のないものは、都度協議する。

収入

■会費

遺族会における会費・郵送会員年会費

■寄付、助成金等

寄付、助成金収入

■イベント収入

イベント時の収入

費用

■会場費

「会の活動」のための必要な会場使用にかかる費用。
遺族会、会議における会場費用等。

■通信費

「会の活動」のための必要な通信費。
遺族、関係者との連絡、物品の移動にかかる通信費など。
会のホームページ設置にかかる費用。
郵送、宅配便等は実費。
会名義の電話費用全額。
個人名義の電話、FAXでの通信費は、概算で請求。

■交通費

「会の活動」のうち、会を代表して対外的に行うものにかかる交通費。
会場取得、他団体自治体等との必要な会議、会に対する取材対応など。
遺族会、スタッフ会議、遠足の会、作文の会などへの出席のための費用は含まない。
但し、会の運営に必要な荷物の運搬のために車で移動した場合を除く。

公共交通機関の場合・・・実費

車移動の場合・・・駐車料金、ガソリン代等、実費相当分

■事務費

「会の活動」のための必要な事務費。
新聞、パンフレット、アンケート、会議資料などの用紙、印刷費用。

■雑費

遺族会で使用するお茶、コップなど。
スタッフ内のみでの飲食費などは不可。

■イベント費用

イベント時の費用。

■交際費等

基本的に不可。

■活動報酬的なもの

基本的に不可。

費用請求時は、できる限り領収書、レシートを提出すること（宛名は個人名でもよい）。
交通費など取得が困難なものは、内容を記載したものを提出すること。

★「リメンバー福岡」のご案内

- 日 時：2007年5月27日（日）午後2時15分～5時（午後2時 受付）
- 会 場：あいれふ 福岡市中央区舞鶴2-5-1
- 内 容：自死遺族同士のグループトーク
- 問い合わせ・参加申し込み先：FAX：092-525-2308
メール：rem.hukuoka@wood.dti2.ne.jp

★「リメンバー神戸」のご案内

- 日 時：2007年5月27日（日）受付 1時40分～ 開始 2時～
- 会 場：あすてっぴKOBЕ（神戸市男女共同参画センター）
神戸市中央区橋通3-4-3 電話078-361-6977
 - * JR「神戸駅」徒歩7分
 - * 神戸市営地下鉄「大倉山駅」徒歩3分
 - * 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩3分

■問い合わせ・参加申し込み先：

〒651-2109 兵庫県神戸市西区前開南町1の2の1

阪神高齢者・障害者支援ネットワーク内

TEL. 050-5532-8813 FAX. 078-977-0224

E-mail: kobe@hospice.jp

★素敵な歌のご紹介「鶴になった父ちゃん」/長渕剛

昨年4月に父親をを亡くした長渕剛さんは、

故郷・鹿児島へ父の足跡を追う旅に出、この歌を作ったんだそうです。

5月16日発売のニューアルバム、「Come On Stand Up!」に収録されている曲です。

6月3日（日）のグリーンフェアラジオ「百万粒の涙を流そう」でも紹介予定です。

（毎週日曜日 19:30～19:45 76.1MHz）

※このラジオは、ミニFMなので、名古屋の中心部で、電波状況のよい場所でしか聴取できません。

もしも も一度 逢えるならば
父ちゃんに やっぱり 逢いたい
あの日のでっかい 背中にしがみつき
おもいきり 甘えて みたい

幼い俺を 父ちゃんは バイクに乗せて
宮ヶ浜に いつも 連れてってくれた
浜の西に沈む 夕陽が赤く揺れていた
海よりも 限りなく 優しかった

俺の父ちゃん・・・ただ生きていてくれるだけで
本当は 本当は よかった
俺の父ちゃん・・・最後の最後まで
俺の名を 呼んで くれたよね

俺は今 国道3号線を とばし
東シナ海を左に見て 山並みハイウェイ
米野津川を渡り 記憶をたどれば
出水 高野尾の原野に 雪が降る

父ちゃん綺麗だなあ
1万5000羽の鶴の群れたちがシベリアから飛んできたよ
父ちゃん綺麗だなあ
雪降る空から今天使のように一勢に舞い降りているよ

★ “りめーる” を配信しています

メールでのご連絡を希望される方には、2007年度より、yahooのメールリングリストの機能を利用した「りめーる」に登録させていただき、一斉配信させていただくことにしております。パソコン版りめーると携帯版りめーるがあります。配信を希望される方は、「〇〇版りめーる登録希望」と書いて、メールにてご連絡くださいませ。

※「りめーる」は、yahooのメールリングリストの機能を利用していますが、皆様からの投稿はできない設定になっています。(会からの一方的なお知らせメールです)

※どなたが登録なさっているかは、管理者以外はわからないようになっています。

★ 講演会のお知らせ

1. タイトル 『喜びと悲しみを分かち合って、・・・ありがとう、ごめんなさい・・・』
講師 佐々木正美氏 (児童精神科医)
2. 日時 6月24日 (日) 受付午後1時から、開演午後1時30分から
3. 会場 アイプラザ半田 (愛知県半田市)
4. 参加費 1000円
5. お申込先・お問い合わせ先 知多おやこ劇場事務局 ☎0569-23-0943
(会場への行き方等、詳細は知多おやこ劇場事務局へお問い合わせください)
6. 佐々木正美先生のプロフィール
新潟大学医学部卒業、児童精神科医
現在、川崎医療福祉大学教授、米のノースカロライナ大学医学部精神科臨床教授、
横浜市総合リハビリテーションセンター参与、子育て協会顧問
著書：『エリクソンとの散歩』、『子供へのまなざし』、『子どもの心が見える本』、
『ことばの森』、『育てたように子は育つ』他多数

★ ボランティアスタッフ・運営委員募集

2ヶ月に一度の遺族会の運営は、ボランティアスタッフがを行っています。「スタッフになってもよい」という方は、ご連絡ください。

ボランティアスタッフになったからといって、かならず毎回参加しなければならないというわけではありません。「今回は参加者として」「今回は受付を」というように、毎回違った形で参加するのもOKです。

また、遺族会以外の、対外的なことなどは、「運営委員」で話し合っています。運営委員会への参画を希望される方は、下記要件をお読みの上、ご連絡くださいませ。

【運営委員の要件】

- ・遺族会の午前のプログラム、及び、別の日程で実施する運営委員会への参加率50%程度以上／もしくは、何らかの役割を継続的に担っていること
- ・遺族会運営スタッフ用のメーリングリストに登録していること
- ・運営委員に、自分自身は自死遺族でない方が入ることに納得できる方

★ 自殺者遺族の相談事業 名古屋市、来月から全国初

(2007年5月22日 中日新聞 夕刊一面より、転載)

名古屋市が全国に先駆けて、相談事業を開始することになったそうです！

<記事全文>.....

深刻化する自殺者の増加を受け、名古屋市は6月から月1回、自殺者の遺族を対象にしたカウンセリングを実施する。臨床心理士らが相談に乗った上で、その後も支援が必要と判断すれば、大学の心理相談室に紹介する。市によると、こうしたカウンセリング事業の実施は全国で初めて。

同市の松原武久市長が22日の会見で明らかにした。

同市内の自殺者は1998年に急増して以降、年間500人前後で推移。市は2016年までに300人未満に減少させることを目指している。

カウンセリング事業はその一環。相談する人は市内在住か在勤が対象で、毎月第2火曜の午前10時から、同市中村区の市精神保健福祉センターで2家族をめぐり、臨床心理士や同センター職員が話を聞く。

一層の支援が必要な場合、大学の心理相談室で、臨床心理士の資格を持つ大学教員らがカウンセリングを行う。

1家族につき、年間約30回のカウンセリングが必要と試算している。

市によると、海外では、自殺者の遺族の後追い自殺は、自殺以外の死因で亡くなったケースの約2倍に上るというデータもある。

松原市長は「総合的な対策を進め、自殺者を1人でも減らしていきたい」と力を込めた。

※記事の中にある、「センターの相談員の臨床心理士」は、リメンバー名古屋のボランティアスタッフの方です。

★連絡先、その他

■e-メール：remember_nagoya@yahoo.co.jp

「remember」と「nagoya」の間の「 _ 」は「 - 」(ハイフン)ではなく、「 _ 」(アンダーバー)ですのでお間違えのないようお願い致します。

■FAX：020-4668-8925 (電話ではありません) ■郵便：〒458-8799 名古屋市緑郵便局留め

■りめーる：「りめーる登録希望」と書いて、会宛にメールを送ってください。

■郵送会員の方は年会費をお願い致します。

★郵送会員への登録方法

- ・リメンバーしんぶんの郵送を希望される方は、「郵送会員」年会費をお支払いください。リメンバーしんぶんを発行の都度、郵送致します。(最新号は遺族会で配布しておりますし、最新の情報はホームページからもごらんになれますので、インターネットにつながる環境をお持ちの方は、郵送会員に登録される必要はありません。また、遺族会開催情報は、「りめーる」でも配信しています。)
- ・「郵送会員」の年度は、事務管理の都合上、1月1日より12月末までとさせていただきます。

1月～6月末までのお申し込み(前期) … 1000円 もしくは 切手13枚

7月～12月末までのお申し込み(後期) … 500円 もしくは 切手7枚

- ・登録の手続きは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。
- ・遺族会の当日、受付でお支払いいただいても結構です。 **郵送会員入金用 郵便振替口座 00800-3-166920**

先日、父の元職場の跡地を訪れてみました。昔からそこにあった自販機でジュースを買ったら、“当たり”ができました! ああ、お父さんが買ってくれたんだ、と思い、傍で見ている感じがして、うれしかったです。

リメンバー名古屋自死遺族の会 代表幹事 鷹見